

ななかま

プリンストン日本語学校

平成28年度 No.28

平成28年11月27日

文責 荒川雄之 arakawa@pcjls.org



今、日本では

先日、福島沖での地震と津波への警戒が報じられましたが、皆さんの故郷に大きな被害がなかったことを願っています。◆さて、高等学校までを義務教育とする米国と異なり、この時期になると日本では中学3年生の進路面談がもたれています。高校の授業料の無償化が始まり、高校への進学率が98%を超える現状ではありますが、就職か進学か、進学ならば高校か専門学校か、高校ならば私立か公立か、どの高校に進みたいのか、どのような制度で受検をしていくのか、希望がかなわなかった場合はどうするのか…等々、生徒・保護者と担任が三者で面談をして、決めていくことになります。かつて、業者テストによる偏差値偏重の批判のより、進路先を決定することのみが強調されて皆さんに理解されているかもしれませんが、現場では、子どもたちが何を目的としてどのように生きていきたいかを基に、少し遠くにある将来を見据えながらの相談が行われています。この時期に将来のことを決められない、ということはもったもなことです。とりあえず、出来るだけ難関な学校への合格を目指すことで歩きやすくなると思う、という考えもあります。いずれにしても、将来に直面し切り拓いていくのは子どもたちですので、都度都度折に触れ、自分の歩いてきた道と、歩いていきたい或は歩いていくであろう道を見つめなおす機会は、少なからず必要なことではあります。また、古い言い方かもしれませんが、保護者にとっては「社会から預かった子ども」を、どのように「社会に返す」のかを考える良い機会となるかもしれません。帰国後に機会がありましたら、ぜひ有効にご活用ください。さて、本校でも保護者の皆さんとの個人面談が進められています。担任は、子どもにとって一番いいことは、ということを基盤に相談をさせていただいています。どうぞよろしく願います。最後になりましたが、国立高等専門学校から海外の子女向けに案内が届きました。お子さんの進路先の選択肢の一つとして、以下のアドレスをご紹介します。

・国立高等専門学校機構HP (入試情報ページ)

<http://www.kosen-k.go.jp/examination.html>

表現学習発表会表彰

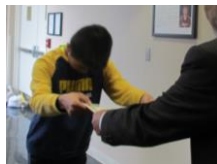
平成28年度表現学習発表会の表彰者が決定しました。教員・理事・総務オフィサー・父母会会長による審査員の評価による表彰と生徒たちの評価により表彰が行われました。優秀者は以下の通りです。岩崎さんは審査員・生徒の両者から評価されてダブル受賞を果たしました。



(以下敬称略)

最優秀賞

岩崎 彩子 (高等部) 『視点』



審査員優秀賞

スチュワード理沙 (高等部) 『心の支え』

宮林 海 (P中高高) 『ハーフとしての存在』

石川 悠生 (中1) 『終わらない戦争』

生徒が選ぶ優秀賞 (各日1名ずつ)

1日目 岩崎 彩子 (高等部) 『視点』

2日目 高木真里奈 (高等部)

『寿司を知らないアメリカ人』

空手演武

先週は、教育第二部の子どもたちを対象に空手の演武が行われました。幼稚部・JASL・プリンストンコース小学部の子どもたちは、大変迫力のある演武に目を丸くしていたようです。礼に始まり礼に終わる、大変折目正しい立ち居振る舞いは、相手への敬意にみちています。日本の武道の良さ・美しさをご紹介いただいた北川先生・羽室先生、ありがとうございました。◆敬意という点では、中高生たちも負けていませんでした。前述の表現学習発表会表彰式では、受賞者への敬意、賞こそ逃したけれど精いっぱい発表に努めた仲間たちへの敬意に満ちた、大変節度ある式となりました。武道で大切な



ことは、人として生きていくうえでも同じように大切なことです。演武の素晴らしさとともに、素晴らしい中高生たちの姿もご紹介させていただきました。



今後の予定

- 本 日** 学芸会リハーサル(幼)
学習発表会係との打合せ(小・P小・J)
※日曜事務にスーさんが加わります。
宜しく願い致します。
- 12月 4日 学習発表会リハーサル
新入生コース希望表提出締め切り
- 12月11日 学芸・学習発表会

